

〈楷書〉 (この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

竹陰覆几琴書潤
花氣薰窓筆硯香

吉田成美先生書

〈草書〉

竹陰几を覆ひ琴書潤ひ
花氣窓に薰じて筆硯香し。

山本飛雲先生書

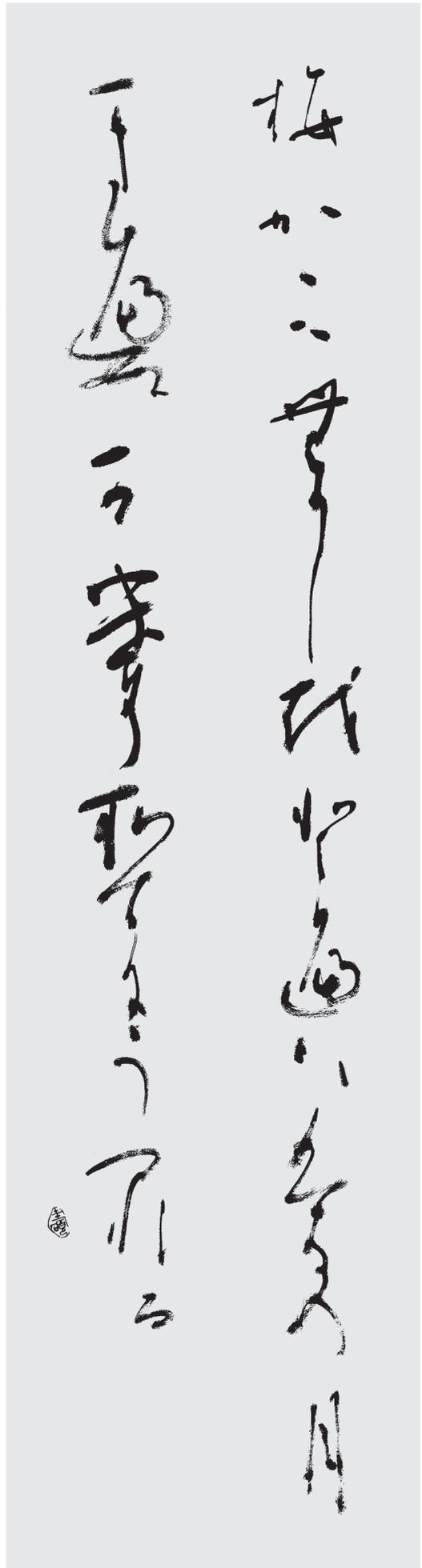
□ 竹陰つくえ几を覆ひ琴書潤うるおひ 花氣窓に薰じて筆硯香かんばし。(不詳)

竹の小かげは机上を蔽おほいて琴や書物がしめり、花の香気は窓前に薰じて筆硯までもよきにおいがる。

次号予告「村樹緑齊黄鳥界 海山青盡白鷗天」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

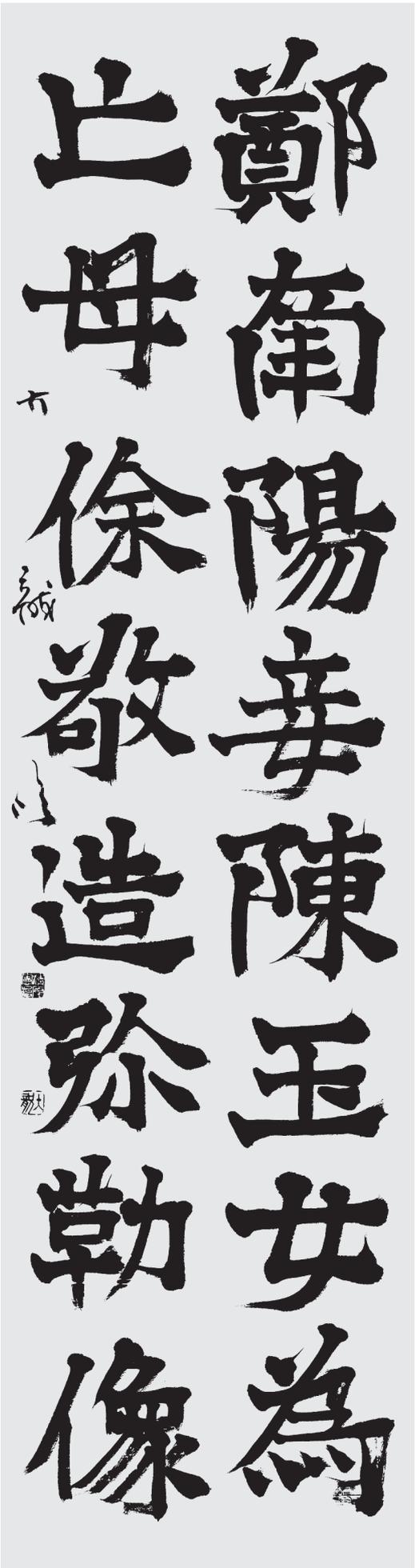
舟尾圭碩先生書



□ 梅か、二に 無可むかし越登をとへ遍八は 盤はるの月 多遍たへぬ可遣かけそ 所てそ尔にうつれる
梅か香に むかしをとへは 春の月 こたへぬかけそ 袖にうつれる
△新古今和歌集 四十五 藤原家隆▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生臨

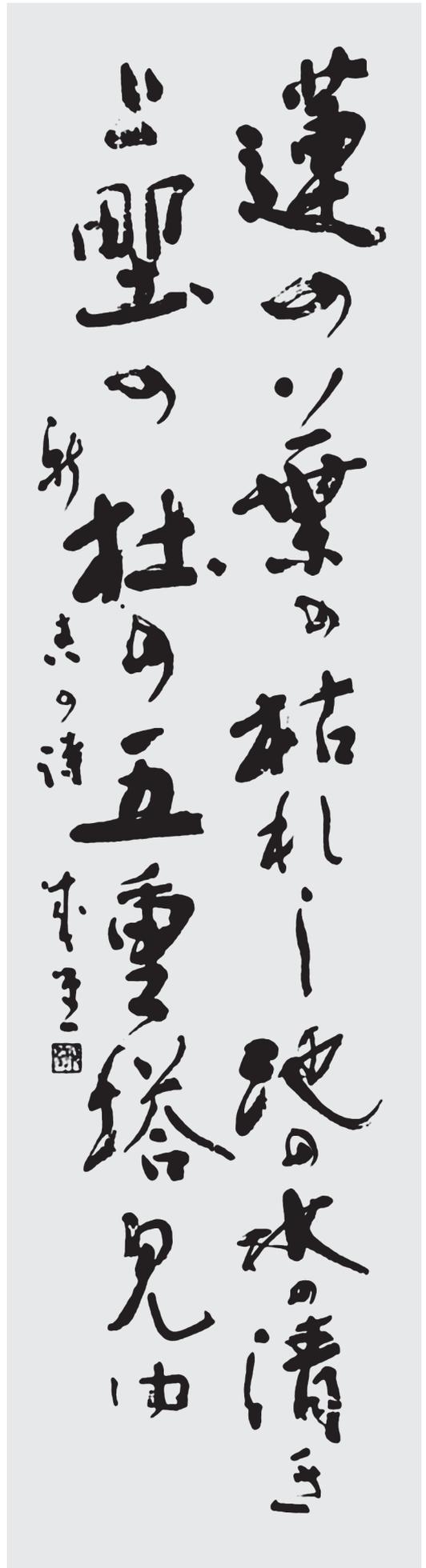


▽鄭長猷造像記

鄭南陽妾陳玉女爲亡母徐敬造彌勒像

条幅随意 (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

吉田成堂先生書



□ 不忍池畔 (抄) 高橋新吉の詩 蓮の葉の枯れし池の水の清き、上野の杜の五重塔見ゆ。

条幅随意 (半折½横のみ) (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



井之上南岳先生書

□ 函之如海

之を函こる、こと海かいの如ごとし

物事を包容する量の広大なことをいう語。漢字四字を横形式・二行に書いてみました。書体や字形の変化を求めて揮毫してみてください。

△手本 (課題例) にとられねず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横½に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意 (半折½) 漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

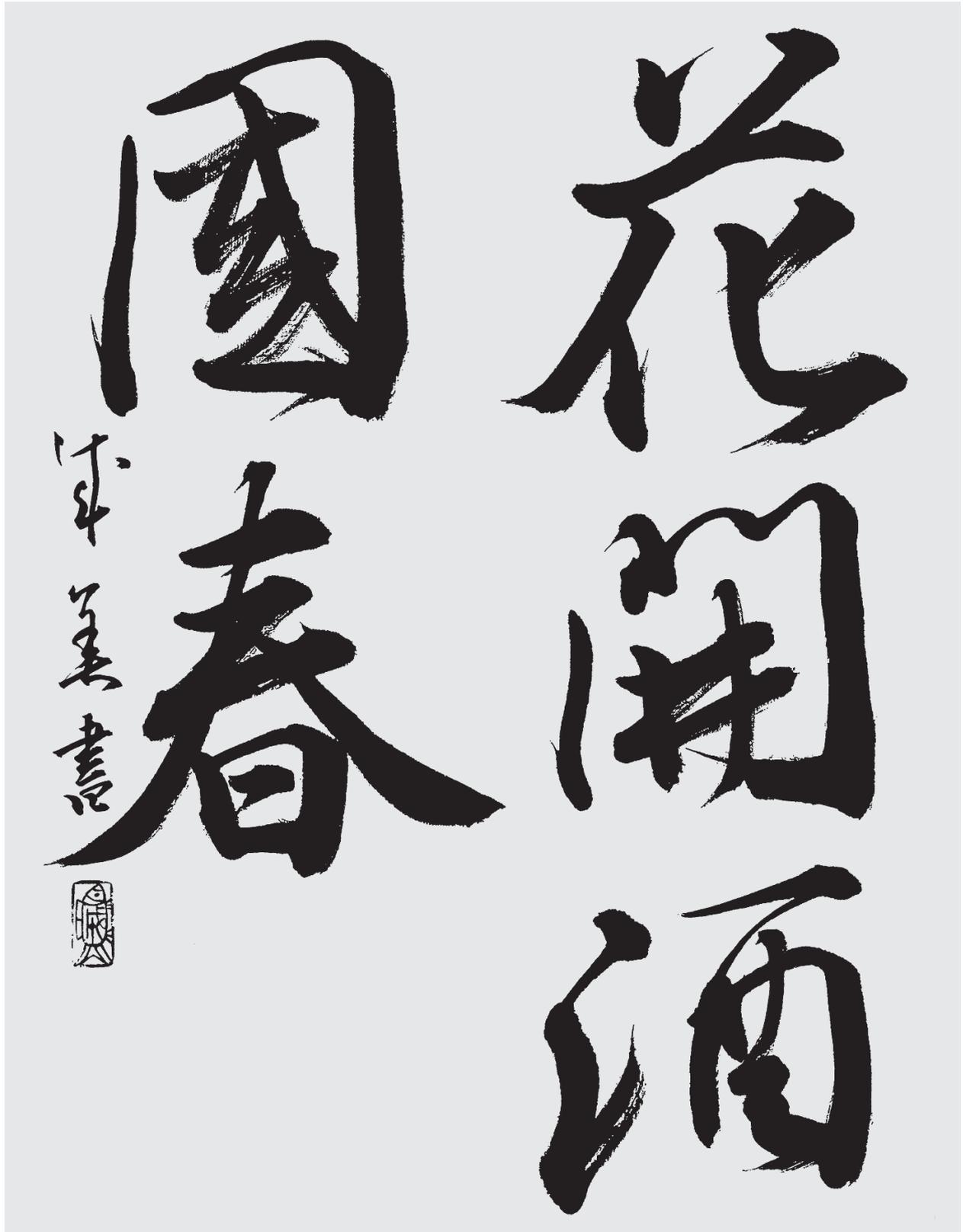


□ 花は開く酒国の春
花咲いてこの世は酔わずではすまぬ春となった。

次号予告「江山満花柳」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



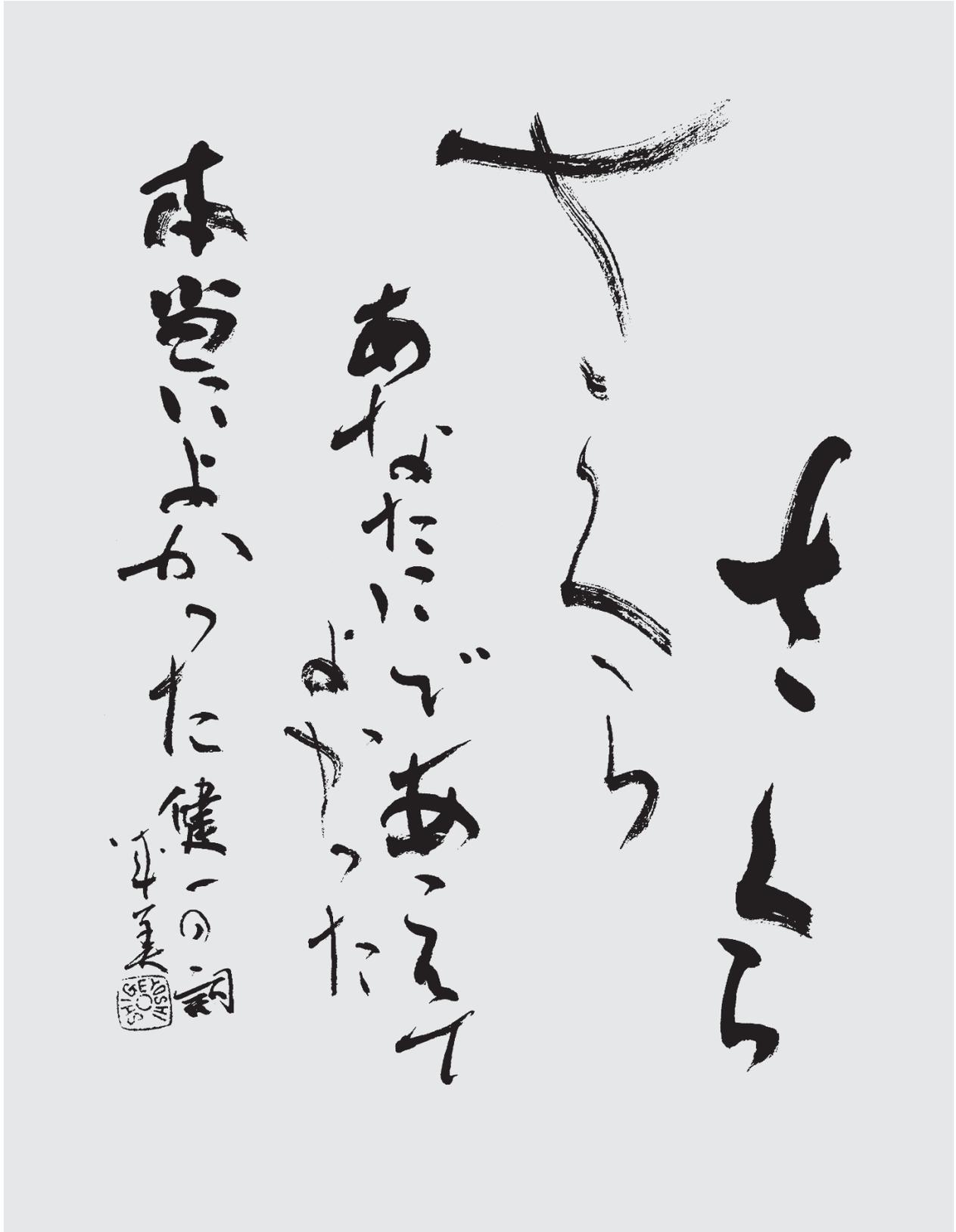
□ 花は開く酒国の春
花咲いてこの世は酔わずではすまぬ春となった。

次号予告「江山満花柳」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。



△詩文書▽ さくら さくら あなたにであえてよかった 本当によかった (高野健一詞)

吉田成美先生書

半紙随意（臨書）参考手本 — 3月30日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽ 鄭長猷造像記



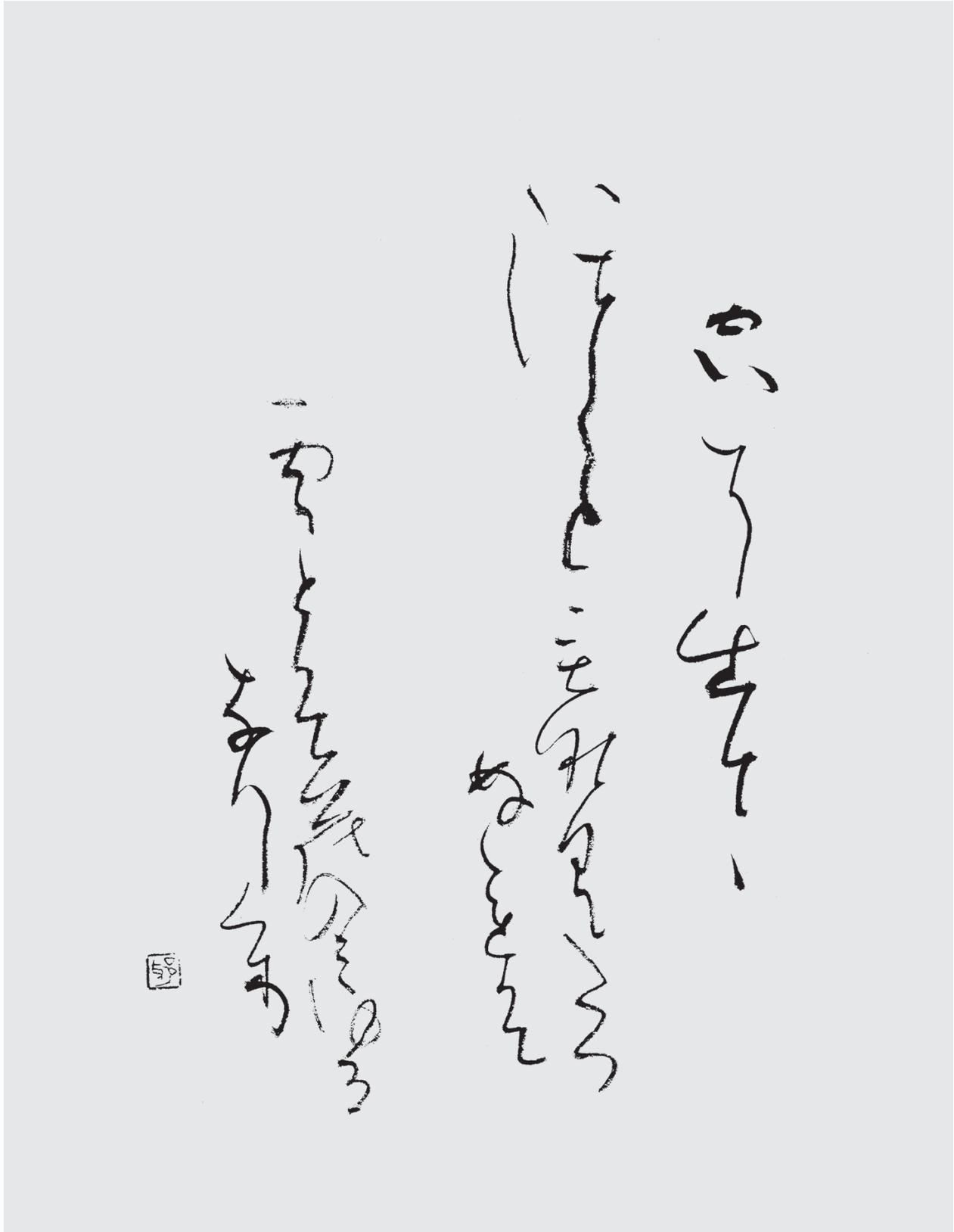
△ 臨書▽ 造像記の線の強さと筆勢を主観に意臨に挑戦してみました。

「像」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

空に出でて
いづくともなく尋ぬれば
雲とは花の見ゆるなりけり



△飯名▽
空^に耳出で、
い^づくとも^なく
多^たづぬ^れば
雲と^は盤^は花^の能^み
三^みゆるなりけり
(山家集 六〇)

小山やす子先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△実用書▽

常滑焼 とこなめやき 駿河雛具 するがひなぐ 信州紬 しんしゅうつむぎ 美濃提灯
甲州印伝 越前和紙 輪島塗 高岡銅器

姓
号

| | | | |
|------|------|------|------|
| 輪島塗 | 甲州印伝 | 信州紬 | 常滑焼 |
| 高岡銅器 | 越前和紙 | 美濃提灯 | 駿河雛具 |

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

〈暮らしに役立つ書〉

春誕生、木も花も雷を膨らませた。
そちらの氷室椿庭園でも、ツバキが見頃を
迎えた、どうでしょうか。

やう、めたびは、大変貴重なコーシー豆をお届
けいた、ごき、誠に有難うございました。早速、
挽いた、ごき、まじったと、透きとおった酸味と
上品な甘み。フルーティーな香りも楽しめて、
優雅な時間を過ごせました。

花冷えの季節、季候不順の折りから、
ご自愛ください。
かしこ

野のある便箋に書いてみよう。

〈26 cm × 18 cm〉

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

| | |
|-----|-------------------|
| | 杓は、目に優しい調光式だという。 |
| | 学べない子はいない。入学商戦の学習 |
| | 国の故事による。いまどき照明不足で |
| | や雪あかりを頼りに書を読んだ中 |
| | 苦学を表す螢雪は貧しくて、螢の光 |
| 段 級 | |
| 氏 名 | |



今月のかきかたドリル (形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

| | | | | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中学 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| 小学6年 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| 小学5年 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| 小学4年 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| 小学3年 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| 小学2年 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| 小学1年 | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |
| ようねん | 継 | 蒸 | 様 | 進 | 屋 | 黒 | 赤 | ら |

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元 紫香 先生 書

平和な国

小学4年

左右の目

小学3年

三まい

小学2年

むら

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

変わらぬ友情

中学2・3年

不言実行

中学1年

旅立ちの朝

小学6年

近づく春

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼ || 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽

ようねん・小学一年

次号予告「こ い」



□「む」のくむすびは筆の軸だけをまわさないように気をつけましょう。ハネもていねいに。

小学二年

次号予告「つくし」



□三本の長さや方向の違いに気をつけて、元氣よく、のびやかに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「土」



□筆順に気をつけながら、二画目の線を強調し、伸びやかにバランスよく書こう。

小学四年

次号予告「虫」



□「平」は横画のそり、二・三画目の空間に注意し、「和」は口の位置に気をつけて書こう。

吉田成美先生書

小学五年

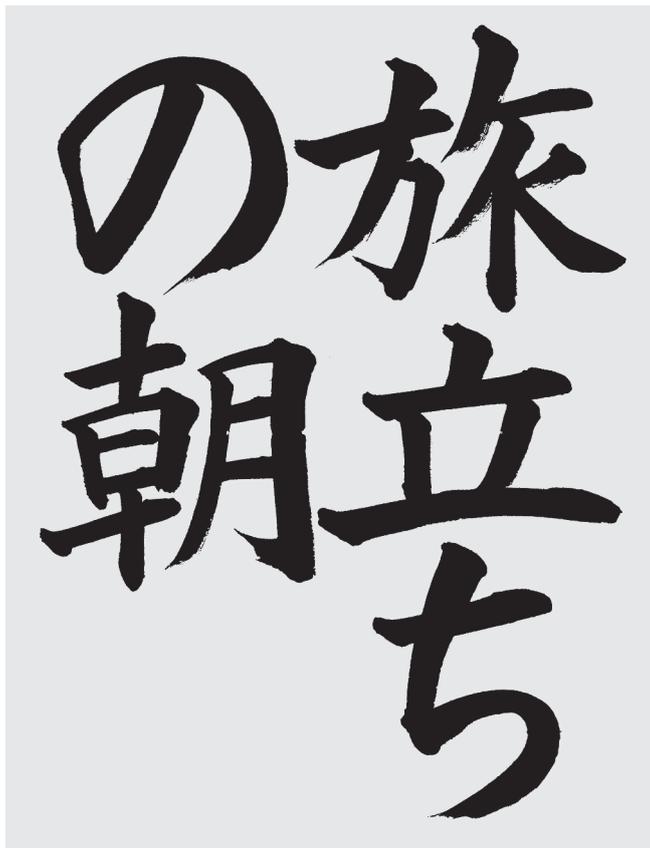


次号予告「よもぎ葉」

□「近」は、しんにょうを伸びやかに。「春」は横画三本の長さに注意しましょう。

小学六年

次号予告「湖」



□五文字のバランスに気をつけ、「旅」は横長に、「立」は小さく、「朝」はたて長に書こう。

秋永春霞先生書

中学一年

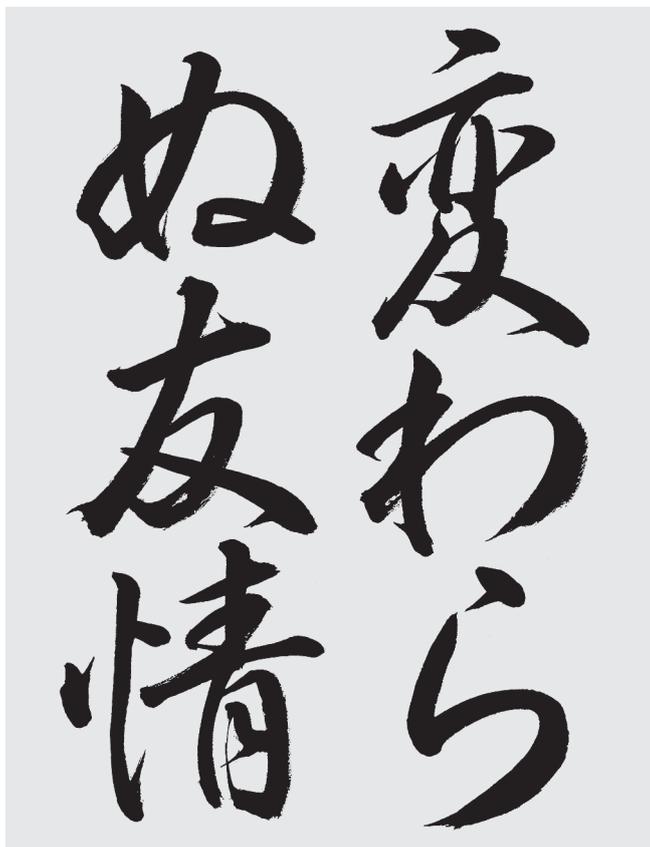


次号予告「地球」

□文字の中心を意識しながら、「不・言」は横画、「実・行」は部首に注意して書こう。

中学二・三年

次号予告「調和」(行書)



□漢字と平仮名の大きさや気脈に注意し、線の強弱を意識しながら立体感を出して書こう。

吉田成美先生書

| |
|----|
| 段級 |
| 氏名 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|
| ら | い | の | 大 | き | さ | で | す。 |
| と | き | は | 子 | ね | こ | く | |
| や | ん | は | 生 | 徒 | 机 | た | |
| ラ | イ | オ | の | | 赤 | ち | |

小学一年

| |
|----|
| 段級 |
| 氏名 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| か | く | ら | の | は | な | か | ち |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

小学一年

ようねん (※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてよい。但、審査は従来通りです。)

①はらう ②はねる
 ③上の二本の
 上とせんにより
 ながい
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿

坂元紫香先生書

| | | |
|------|---------------------------------|--|
| 小学五年 | おはあちゃんはお真面目な顔 になって、眼鏡を外しました。 | 「それじゃあひとくちくちの 話をしてくれるかね。おんぐんの 中に神様のいたった話をね。」 |
| 段級 | | |
| 氏名 | | |

①右上
はらう
②上にはねる
金鏡鏡 木柵様様

小 畠 秋 聲 先 生 書

| | |
|------|--|
| 小学四年 | 両手をホットに入れて、 女の子は進んでゆきました た。石けりをしてから女の 子は橋をわたりました。 |
| 段級 | |
| 氏名 | |

①とめる
はらう
②はねる
二門両両、一門作進 木柵橋橋

坂 元 紫 香 先 生 書

世界は変わりました。飛行機から
 への交通手段になって、人々が
 蒸気機関車をながしく思う日
 が来るなんて、私か子どもが
 どうして想像できたでしょう。

「はねる」
 飛 飛 飛
 機 機 機
 機 機 機
「を」と「は」のように
 点をのぞき注意
 せねる」
 蒸 蒸 蒸
 蒸 蒸 蒸

世界各地で争いや衝突が絶えず、
 のは互いに相手を悪として自分た
 ちに都合のよい物語を作りあげ、
 それを世代間で継承し果てしない
 戦いの心を抱き続けるからだ。

「はねる」
 飛 飛 飛
 機 機 機
 機 機 機
「を」と「は」のように
 点をのぞき注意
 せねる」
 蒸 蒸 蒸
 蒸 蒸 蒸